



深江中学校だより

令和4年12月23日

第11号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

2学期を振り返って

本日、2学期の終業式を行いました。コロナの影響で、体育館に集合しての式は叶わず、オンラインでの実施となりました。式の校長のことばの中で、2学期の学校行事等を振り返りながら、生徒の成長や活躍について触れる予定でしたが、時間の都合上、割愛しました。その割愛した内容をここで紹介させていただきます。

9月、**普賢岳災害を語り継ぐ集会**では、「想定外のことが起こることを想定して生活する」ことや、災害について「継承」「発信」「創造」していくことの重要性を学びました。**10月**、**市中総体駅伝大会**では、男女アベック優勝というたいへん素晴らしい成績を残しました。これまでの練習の成果を発揮し、深江中学校の力を示してくれた大会となりました。選手の皆さんは互いのことを思いやりながら、本当によく頑張りました。**11月**、**文化発表会・合唱コンクール**。どの学級もたいへん素晴らしい合唱を披露しました。特に、3年生の全員合唱は圧巻でした。ご来場いただいた保護者の皆様からも、たくさんお褒めの言葉をいただきました。11月10日の**県中総体駅伝大会**。男女とも、県のレベルの高さを肌で感じる大会となりましたが、粘り強い走りですぐに順位を上げてゴールした女子、メンバーが揃わない中でも、最後まで懸命にタスキをつないだ男子、その雄姿は、多くの方に感動を与えました。11月中旬は2年生の**修学旅行**もありました。生徒にとって中学校生活最大の行事と表される修学旅行。コロナの影響を受けながらの実施でしたが、2年生にとっては思い出に残る行事となりました。**12月**、**人権週間の取組や人権集会**では、様々な人権に関する課題や身近な人権について学び、日頃使う「言葉の大切さ」について振り返るいい機会となりました。12月7日には**生徒会役員選挙**が行われました。立候補者、応援演説者、ともに、緊張の中にも自分の考えをきちんと伝えることができました。生徒会のバトンを引き継ぐための選挙でしたので、3年生は卒業が徐々に迫ってきていること、2年生は深江中のリーダーとして学校を引っ張っていく意識を高めること、1年生は先輩となる自覚が必要なことなど、一人一人が気持ちを新たにしました。これら以外にも、各種テストや総合的な学習の時間の取組、3年生の受験に向けた取組、部活動における各種大会への参加等がありました。特に、**部活動の各競技新人大会**においては、野球部（西有家中と合同チーム）、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部（西有家中と合同チーム）が市・地区の大会で、それぞれ見事優勝を果たしました！男女バスケットボール部と女子バレーボール部は1・2月に県大会を控えており、活躍をたいへん楽しみにしているところです。

合唱コンクール

11月1日（火）に実施した文化発表会・合唱コンクール。今年度も、コロナの影響により、合唱コンクールのみの開催となりました。保護者の皆様には、観覧の入替え等でたいへんご不便をおかけしましたが、当日は多くの方にご来場いただき、たくさん感想をいただきましたので以下に一部を紹介します。保護者の方々に喜んでいただいたり、努力を認めてもらったりして、生徒も随分励みになり、成長を実感できた学校行事となりました。ご来場いただいた保護者の皆様、感想をお寄せいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

- 例年、合唱コンクールでは感動をもらいます。中学生でこんなにステキな歌声が出るんだなあとすごく驚きます。日々の練習でも色々問題があることを子供から聞いていたので、それを乗り越えて出来上がった合唱は本人たちも保護者も喜びを感じれると思います。ありがとうございます。
- 3年間合唱コンクールを聴かせていただきました。1年生、2年生、3年生と学年が進むにつれて、歌声や歌う姿に成長を感じ、今年で最後だと思つと涙がでました。さみしさと成長を見ることができた嬉し涙です。コロナの中でも合唱コンクールが開催できたことに感謝です。
- 3年生の全員合唱は特に心にしみました。今まで3年間過ごした仲間と一つの歌を作り上げることで、より一層絆が深まったのではないのでしょうか。素敵な思い出をありがとうございました。
- コロナ禍で学級閉鎖等、心配された中、合唱コンクールを開催していただき感謝でいっぱいです。行事への取組を通して子供は成長し、それが大人になってからも、よい経験と思い出となっていきます。コロナ禍だからこそ、成長できる部分もあると思います。子供たちの頑張っている姿、成長している姿が見れてとても嬉しかったです。コロナ対応等、ご配慮いただきありがとうございました。

（裏面あり）

生徒会新三役決定！

12月7日に生徒会役員選挙が行われ、新三役が決定しました。

会長 松山 暉 さん(まつやま ひかり) 2年2組
副会長 川田 稔也 さん(かわた としや) 2年2組
副会長 上田梨里愛 さん(うえだ りりあ) 2年1組

この3名を中心に、令和5年の深江中学校生徒会は活動します！

残る生徒会執行部役員や専門委員長は今後決定します。
1月11日(水)に生徒会引継式を実施予定です。

いつまで続くコロナ禍…

学校で行われる教育活動は、子供に「生きる力」を育むために行われています。「生きる力」とは、学校で学んだことが子供の未来へつながる力になるようにと、文部科学省が指針を出したものです。では、子供が生きる未来とはどのような時代か？以前は、「変化の激しい時代」と表されていましたが、今は「予測困難な時代」と表されています。その一つが正にコロナと言えると思います。ひと昔前、誰がコロナを予想し、誰が生活様式の変化を予想したのでしょうか？2020年1月15日に、日本で初めてコロナ患者が確認されてから、間もなく3年が過ぎようとしています。2021年には、WHO(世界保健機関)は「日本におけるコロナは2022年4月には完全に終息する」と予想を立てたものの、いまだに出口が見えない状況です。コロナ禍では、生活様式や社会情勢だけでなく、学校の様子も様変わりしました。行事の中止や縮小・見直しはもちろん、教育活動全てにおいて、ウィズコロナの在り方を検討し、取り組んできました。そんな中、生徒には窮屈な思いも随分とさせてきましたが、「きつとこの経験が、将来、予測困難な時代を生きる子供には生かされるはず！」そう思って「生きる力」を育む教育活動に日々取り組んでいます。

コロナロス

コロナに関してもう一つ。「コロナロス」という言葉を耳にされたことはおありでしょうか？「〇〇ロス」とは、よく若者の間で使われる言葉で、何か大切なもの等をなくした時、喪失感や絶望感のような感情を抱くことを指す言葉として使われています。コロナが完全に終息した時、色々な活動を元の活動に戻そうとすると、それに対して抵抗感や不快感を覚える人が出てくるのが予想されているようです。簡単に言えば「コロナ禍の方が良かった…」そう思える感情だと思います。最近では「今後、マスク無しでは生活できない。」そう感じる人も多いとか…。学校では、コロナの状況も見極めつつ、「生徒にとっての最善は何か」を中心に据えて、各種行事・活動等のあり方を検討して行きたいと考えます。

本当にそれでいいのか？

本日の終業式で、今年を振り返り、新年からの取組に生かして欲しいとの思いから、以下のような話を生徒にしました。生徒にとっては耳の痛い内容かもしれませんが、是非ご家庭でも話題にされてください。

日頃から、職員室で先生方は生徒の皆さんの話をよくされます。その話を聞きながら、私も皆さんの様々な場面での様子を知ることがあります。頑張っていることや活躍していること、一生懸命に取り組んでいることなど…。ただし、中には一部、残念に感じる内容の話をする機会もあります。授業中、集中できなくて他のことをしていたり、指示通りのことをしていなかったり、注意されても素直に従えなかったり…他にも、しなければならぬことをしていなかったり、逆にはいけないことをして周りや先生方に迷惑をかけたなど…。みなさん、振り返ってみて思い当たる節はありませんか？心当たりのある人に尋ねます。「本当にそれでいいんですか？」「今のままでいいんですか？」「だらだらと安きに流されていませんか？」「次からちゃんとしようと思わなくていいんですか？」もう中学生ですから、今、何が大事で何が大事でないか分かっているはず。今、何を優先してしなければならぬか分かっているはず。もう一度問います。「本当にそれでいいんですか？」将来の自身のことをしっかり思い浮かべながら、あるいは、日頃の生活面・学習面・部活動等を振り返りながら、よく考えて欲しいと思います。そして、きちんと行動に移して欲しいと思います。また、この問いかけに対し、自分に反省するところがあると思う人は、この冬休みを変わるきっかけにして欲しいと願っています。

学校評価に関するアンケートについて

学校評価に関するアンケートについて、回答のご協力ありがとうございました。昨年度までの紙媒体によるアンケートから、今年度はWEB回答様式へと変更し、どれほどの回答があるか心配していましたが、多くのご家庭から回答をいただきました。深江中学校の教育活動に対する評価や、教職員・生徒の活動に対する意見・感想などもお寄せいただきました。感謝の言葉や励ましの言葉の他に、中には厳しい意見や指摘もあり、改めて気を引き締めたところです。集計も終わり、今後は分析と同時に対策の強化も行なってまいります。詳細については、3学期に発行予定の学校だよりでお知らせいたします。